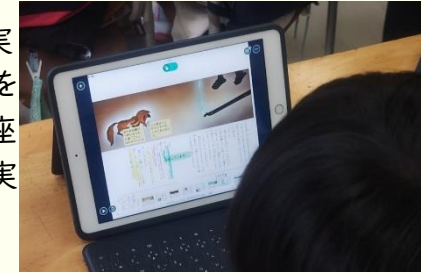




【機器活用で学ぶ姿勢の顕在化】

これまでアナログな手法で実施していた互いの感想や意見を共有して自分の考えを広げる座談会をロイロノートを活用して実施。



授業

4学年 国語

読書座談会をしよう

めあて： どんぎつねの「どん」の気持ちを考えよう



担任の先生のコメント

日々の授業においてロイロノートで教科書を配信することで、場面や本文に直接、児童の考えなどを書き込んでもらっている。それを座談会の中でリアルタイムに参照して意見交流をすることで、既習事項を端末上で振り返りながら、「児童自身が必要な情報を取捨選択して」発表する際のためよいツールとなっている。

《授業の流れ》

1 本時の説明

座談会は2巡すること、本時の目的、「相手の意見を否定しない」ことなどルール説明

2 座談会開始

3人組に分かれて代表者の端末を使用して、自分のカードを閲覧しながら意見の発表および交換

3 本時のまとめ

ロイロノートで、共有したカードに座談会を通して「感じたこと」を記載して提出  
ノートに記載を希望する児童は、ノートを撮影して提出

